



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151（内線番号：77-988）

担当者の所属・氏名：女性総合診療部 吉田 司

【研究責任者】

聖路加国際病院 女性総合診療部 吉田 司

当院で不妊治療をされた方を対象とした

アロマターゼ阻害薬を併用した卵巣刺激についての研究

1.研究の対象

2014年1月1日から2022年08月31日までに当院で不妊治療（体外受精）を施行した方

2.研究の目的・方法

体外受精における採卵周期の排卵周辺のエストラジオール（女性ホルモンの一種）濃度は、自然妊娠の2～5倍に上昇し、その後長期間にわたって高値を持続する。エストラジオールは、乳がん細胞の増殖を促進し血管形成を促すことから、乳がん患者あるいは乳がん既往のある患者に対する体外受精（採卵周期）が乳がんの予後を悪化させ、再発のリスクを高めることが懸念されています。

2006年に乳がん患者（あるいは既往のある患者）の体外受精（採卵周期）に、アロマターゼ阻害剤【レトロゾール（商品名：フェマーラ®）】を併用することでエストラジオール上昇を回避する方法が報告された以降現在主流の方法となっています。

本検討は上記の卵巣刺激が真に有用かを判断するために、レトロゾールを併用せずに卵巣刺激をおこなった体外受精結果と比較することを予定しています。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

個人情報（カルテID、年齢、身長、体重、BMI）

患者背景：既往歴、嗜好歴、不妊治療の既往、手術歴

検査データ：採卵前・採卵後エストロゲンデータ、採卵結果

《試料》 なし